

【 文通ボランティア お申込み用資料 】

- ① 全てのページをご確認頂いてから、「MLP同意書」(p7~8) および「ヒヤリング用事前確認シート」(p9~10) をそれぞれ必ず両面印刷し、ご記入の上、2枚を一緒にご郵送ください。
- ② ご郵送後、loveletter_project@motherhouse-jp.org 宛に「MLP申込み用資料を郵送しました」という旨のメールをお送り下さい（お名前とご住所も記載願います）。
- ③ ①②完了を確認後、重要事項をまとめた冊子と、バースデーカード10枚をお送り致します（お申込み人数の関係上、2~3週間ほどお時間を頂く場合がございます）。
※バースデーカードは、マザーハウスより、近日に誕生日を迎える不特定多数の受刑者へお送りしているものです。「実際に手紙を書き始めてみると、思っていたよりも文通の時間が取れない」との声が多いので、まずはバースデーカードを書かれてみて、続けていけそうか検討して頂ければと思います。
- ④ 冊子の内容を確認後、バースデーカードにご記入頂き、10枚まとめてご返送ください。
※参加を辞退される場合は、冊子とバースデーカード10枚（白紙でOK）を返送願います。
- ⑤ 担当の山岡より、順番にお電話でご連絡致します（ヒヤリング）（お申込み人数の関係上、1か月ほどお待ち頂く場合がございます）。
- ⑥ ヒヤリング終了後に文通ボランティア登録となり、ペア（文通相手）決めに入ります。
ペア決め後、「文通相手決定の通知書」をお送り致します。
※この通知書で文通相手をお知らせ致しますが、スタートは受刑者からとなりますので、相手からのお手紙が届くまでしばらくお待ちください（刑務所では、文通登録や発信制限がありますので、最初のお手紙が届くまでに1か月ほどかかる場合がございます）。
- ⑦ 文通相手よりお手紙が届きましたら、文通開始となります。事務局からの連絡はありませんので、ご都合の良いタイミングで返信を書かれてください。

〒130-0024 東京都墨田区菊川 1-16-17-102 NPO 法人マザーハウス
理事長 五十嵐弘志 / MLP文通係 山岡るり

TEL : 03-6659-5260 FAX : 03-6659-5270 Eメール : loveletter_project@motherhouse-jp.org

このたびはマザーハウスの活動にご興味を持って頂き、有難うございます。マザーハウス・ラブ
レター・プロジェクト（MLP）は、刑事施設に収容されている人々（受刑者）と、社会のボラン
ティアを文通によって繋ぐ活動です。「ラブレター」には、「真心のお手紙での交流を」という願い
をこめています。

マザーハウスでは現在、文通ボランティアを募集しております。お手紙を通して、受刑者と心と
心の交流をして頂ければ幸いです。話し相手がいる、向き合ってくれる相手がいる、自分は大切に
されている、自分は必要とされている、と実感することが、更生改善・社会復帰への第一歩になる
と信じて、私たちはこの活動を続けております。

【MLPの理念】

多くの受刑者が、逮捕後、友人はもとより、家族や親戚とも音信不通になり、孤立無援の状況に
陥ります。私たちは、受刑者を「犯罪人」のまま社会から疎外するのではなく、「以前は同じ社会
で隣に生きていた人、そして刑が終了したらまた戻ってきて再びともに生きていく人」としてとら
え、社会の人々とのコミュニケーションを絶やさないことにより、健全な精神を取り戻して、二度
と犯罪を繰り返さない、二度と被害者を出さない、「犯罪からの離脱」へ繋げられたらと願ってお
ります。

加害者になろう、と思って加害者になる人は意外と少ないです。いつの間にか、だったり、気付い
たらもう戻れなかった、だったり、ふと気が抜けた瞬間に、だったり…「加害者になる」ことを意
識してから犯罪に走る人は、実際はほとんどいません。誰でもある日突然、被害者になる可能性が
あると同時に、加害者になる可能性があります。文通などを通して、受刑者と関われば関わるほど、
彼らは遠いどこかに居る存在ではなく、同じ社会に生きる同じ人間であると実感するはずです。

受刑者の更生・社会復帰は、刑事施設だけでは完結せず、社会の人々の協力・受け入れが不可欠です。社会で認めてくれる人、応援してくれる人が必要です。でなければ、社会に戻ってきたときに居場所を作れず、再び刑務所に戻ってしまう悪循環に入ってしまいます。（事実、日本の再犯率は6割と非常に高いです。）真に、社会で生きていくといえる社会復帰は、「社会・地域で受け入れられる」ことが欠かせません。

受刑者を、単に「犯罪人」「悪人」「モンスター」としてとらえるよりも、同じように生まれた一人の人間として、一対一のお付き合いをして頂ければ幸いです。そして、文通を通して知った、刑事施設の現状、受刑者の人権問題、死刑に関する問題など、普段なかなか直面することのない事柄について、少しでもご理解して頂けたら幸いに思います。

私たちは真剣に、社会に訴えます。皆様の愛とゆるしが、受刑者の更生改善に役立ち、必要です。自分を否定する言葉、殺す言葉ではなく、自分を励ましてくれる言葉、生かす言葉に飢えている人が大勢います。自分を受け入れ、自分の話に耳を傾けてくれる存在に飢えている人が大勢います。

そして、自分の状況すら分かっていない人、常識や社会通念を持たない人も少なくありません。それは、人との心と心の交流がほとんど無かったからです。だから人の気持ちが分からず、相手の嫌がることを自分も同じように感じる事ができないのだと思います。たとえ同じ境遇で育っても、他に居場所のある人、聞いてくれる存在と出逢った人は、そこで人と向き合うことを学び、違った道を歩むと思うのです。逆に言えば、どんなにひどいと思える人間でも、出逢いによって変われる可能性があるはずで

ぜひ、変えようとするのではなく、皆様の真心からくる言葉をかけて、相手を受け入れてくだされば幸いです。それにより、知らない間に少しずつ相手も変わっていきます。耳を傾けること、受け入れること自体に大きな愛があり、彼らがそこで愛と出逢うからです。受け入れられる安心感を知り、自分が大切にされているという体験をするからこそ、相手の嫌がることはしたくないと思えたり、人のことを大切にしようと思えたりできるようになります。それには、社会にいる皆様お一人おひとりの愛とゆるしが必要です。多くの方が、このMLPの活動にご理解・ご参加して頂ければ大変嬉しく思います。

【具体的には】

- 「相手の方を更生させよう」としてお手紙を書かれるというよりは、社会での交流と同じように、友人関係のような、自然なやり取りをされてください。日常の出来事、季節のこと（絵葉書等）など、簡単な内容で大丈夫です。誰かとの何気ない会話に飢えている人が大勢います。
- 常識的に良くないと思われる内容や、明らかに「甘え」だと思われる事柄に関しては、はっきりと注意して頂ければ幸いです。
- 聞かれたくない質問、返信を書きづらい事柄、共感しにくい話題などは、ノーコメントで大丈夫です。書きやすい部分だけ返信をされて、積極的に話題を振って頂ければと思います（あるいは、相手の方が積極的に書かれる方でしたら、聞き役に回って頂ければと思います）。

【特にご注意頂きたい点】

- ご参加にあたって、会費等は発生しませんが、切手・便箋・封筒など、文通に必要なものはご負担をお願いしております。（※相手の方の分はご負担頂く必要はございません。）

- 物資や切手、金銭の支援は一切禁止とさせて頂いております。(※年に一度程度のプレゼントとして、書籍をお送りすることは可能ですが、その場合でも、相手の方が指定する書籍をお送りすることはおやめください。)
- M L Pで知り得た相手の方の情報を、第三者には絶対に漏らさないよう、お約束くださいませ。相手の方は、一対一のプライベートなやり取りであると信頼してお手紙を書かれています。たとえ家族等の身内であっても、相手の方に無断でどなたかにお手紙を見せたり、内容を話したりされることはおやめください。

【文通ボランティア ご参加の流れ】

- **文通ボランティアをされるにあたっては、精神的な面でのご負担が少なくないと思われま**す。よくご検討の上、お申し込み頂きますよう、何卒よろしくお願
- い申し上げます。特に、文通相手が決まってから辞退される場合や、ご連絡のないまま文通が途絶えてしまう場合は、他人との交流が極めて少ない相手にとって、かなりのショックを残す可能性があることを、ご考慮ください。(ただし、相手の方のお手紙の内容が、あまりに軽率・不快なもので、ご負担に感じる場合には、無理せずご辞退ください。)**
- **刑事施設は非常にデリケートなところですので、お一人の行動によってM L Pの活動全体が停止してしまう可能性があります。ぜひ、個々のボランティア活動としてではなく、マザーハウスのスタッフの一員として活動する、という自覚を持って頂いた上でご参加くだされば幸いです。**

いつも有難うございます。皆様にぜひお伝えしたいことがあり、書面に致しました。

御願い

MLPの目的は、「相手にとって話し相手である」ことです。相手との会話のキャッチボールが成立しない、一方的なやり取り（ご自身の過去や体験談ばかり書かれたり、愚痴や説教が中心であったり、など）はお控えくださいますよう、何卒お願い致します。長年、人とのコミュニケーションをほとんど取ってこなかった方も多いため、丁寧に信頼関係を築いて頂ければ幸いです。

また、文通が長くなるにつれて、距離も縮まると思いますが、個人情報をお教えたり、物を送ったりすることは、何卒お控えください。人として良くない、社会で生きるうえで良くないと思われること、相手が自分の子どもであれば注意することについては、厳しく言って頂けると幸いです。文通ボランティアとしての一線を越えず、時には友として、時には子と思っ、相手の方に向き合って頂きたく、お願い致します。

なお、文通ボランティアが理由を伝えずに突然やめたことで、深く悩む受刑者も少なくないため、文通をやめる際には、事務局だけでなく、相手の方に一言ご挨拶して頂ければ幸いです。

○物品のやり取り・情報のお知らせ について

これまではトラブルを避けるため、一律に不可としておりましたが、「相手に何かささやかな贈り物をしたい」という方もおられるので、新たに基準を設けさせて頂きたく、お知らせ致します。

→お金や切手、支援物資（洋服等）を送ったり、受け取ったりすることは、如何なる場合もNGです。相手からの要求ではなく、こちらから何かの折に、聖書や本、冊子をプレゼントすること（クリスマス、誕生日等）はOKです。その他のものは入らないことが多いです。

【情報検索や物資のお願い事をされた際は、「マザーハウスではフランシスコ事業部という検索・差入れ代行事業を行っておりますので、事務局の方へお問合せください」とご案内して頂いても大丈夫です。】

→相手からの要求ではなく、こちらから話題の流れで「こういう講座／場所があるのでオススメです」と教えることはOKです。ただし、相手から、「この人の写真／この場所の住所や地図／この作者の本を調べてください」など、何かの検索・送付を要求された場合は、お断りください。

○よくあるご質問

☆何かお願い事をされた際の断り方が分かりません。

→「このお願いについてですが、文通ボランティアとしての役割ではないと思いますので、直接、マザーハウスの事務局の方へご相談ください」「私は、貴方とは心と心の交流を通して付き合っていきたいと思っていますので、その御用については事務局へ直接ご相談ください」など、はっきりとお断りください。

☆今までにあったトラブルは？

→【例1】受刑者が「送ってほしい」と書いたものを文通ボランティア側が一、二度送ったことで、依存してしまった（出所後も、「〇〇さんが会ってくれないと死にます」等の内容のお手紙が届いた）。

【例2】受刑者の手紙を、文通ボランティアが家族に見せたりしていたことから、受刑者にとって文通ボランティアへの信頼を失うことになり、やむなく文通が終了した。

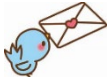
【例3】一番多いのは、受刑者側からの、金品や関係（出会い目的など）の要求です。何とかして物を受け取ろう、個人情報を知ろうと、色々嘘を書いてくる場合がありますが（文通の登録に必要、など）、絶対に教えないでください。

☆出所後の文通はできる？

→受刑中の文通で、ある程度信頼関係が築かれている場合、双方の希望があれば、出所後もマザーハウスを介して文通を続けることが可能です。ただし、受刑中の面会や、出所後に会うことは、NGです。

以上です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。ご質問・ご事情・お困り事等は、お気軽に事務局まで。

FAX：03-6659-5270 / Eメール：loveletter_project@motherhouse-jp.org



MLP (マザーハウス・ラブレター・プロジェクト) 同意書



MLPの趣旨

塀の中の受刑者と社会の文通ボランティアが、真心をこめた手紙をやり取りすることにより、受刑者の心の回復と社会復帰への準備を目指します。

※「ラブレター」とは、「真心の手紙」という意味で使用しております。「恋愛要素のある手紙」という意味では決してありません。

MLPのやり方

受刑者は、特定非営利活動法人マザーハウス（以下、「事務局」という。）に宛てて手紙を送り、事務局から文通ボランティアの住所へ転送します。文通ボランティアは、宛名に直接、受刑者の住所と名前を書いて送ります。その際、差出人欄には、事務局の住所とペンネーム（ペンネーム不使用の場合は本名）を書きます。※切手やレターセットは自己負担です。

※本人の手紙・絵以外のものをやり取りした場合、事務局で開封致しますのでご了承ください。

MLP参加の規則

- ① 私の年齢はボランティア規則の18歳以上です。
- ② 私はすべての文通を、事務局を介して行います。私の住所、電話番号、職場などの個人情報および連絡先は文通相手に一切教えません。
- ③ 私は文通相手の出所後、自宅や職場に招くなど、相手と会うことは決してしません。
- ④ 私は文通相手と、切手・金銭・物資のやり取りを決してしません。何か依頼されたり、トラブルが起きたりした場合は、速やかに事務局に相談します。
- ⑤ 私は文通相手との手紙の内容や、文通を通して知り得た相手のすべての情報に関して、研究・取材の対象とすることや、第三者に話すこと、マスコミへの発表、インターネット上への書き込み（ブログ・日記・掲示板等）など、外部に知らせる行為を絶対にしません。
- ⑥ 文通相手の事件、罪状、裁判などに関して、私から積極的に尋ねたり、話題にしたりしません。
- ⑦ 手紙について
 - 1) 細心の注意を払って取り扱い、自宅から持ち出しません。
 - 2) 紙もしくは電子的方法などによる複製をつくりません。
 - 3) 第三者が容易に読むことのできない場所で保管します。
 - 4) 廃棄の際には、細かく裁断するなど、読み取れない状態で廃棄します。
- ⑧ 文通を中止したい場合は、速やかに事務局に知らせます。
- ⑨ ペンネームを使用する場合は、ペンネームであることを絶対に相手に知らせません（本名として文通します）。なお、ペンネームを使用しない場合は、文通相手が出所後、SNS等で本名検索して個人を特定される可能性があることを十分承知しております。
- ⑩ 以上の規則を超えて、文通相手と直接、親密な関係を築きたい場合（面会等）は、必ず事務局に相談してから MLP を退会します。退会后、事務局は一切の責任を負わず、すべての責任は私自身に帰属します。

MLP 参加の同意

私は、裏面の「MLP の趣旨」「MLP のやり方」「MLP 参加の規則」を熟読し、理解したうえで、そのすべてに従うことに同意します。

• 日付： _____年 _____月 _____日

• 文通相手：計（_____）名を引き受けます。

ふりがな

• お名前： _____

押印

• ペンネームの使用を希望しますか。（ はい ・ いいえ ）

ふりがな

→ペンネーム： ※希望する方のみ _____

※こちらのお名前を本名として文通します（わざわざ「本名です」と伝える必要はございません）。

※姓+名のかたちで、一般のお名前をお考えください。

ふりがな 〒

• ご住所： _____

ふりがな 〒

• 転送先： ※上記住所と違う場合のみ _____

• お電話番号： _____ • Eメール： _____

• 自由記入欄（きっかけ・ご経験など）

以上

↓ホームページ



〒130-0024 東京都墨田区菊川 1-16-17-102
マザーハウス事務局 MLP 文通係 山岡るり

TEL：03-6659-5260 / FAX：03-6659-5270
Eメール：loveletter_project@motherhouse-jp.org

↓メール



★文通相手にお手紙を出すとは定して、下記封筒欄に宛名と差出人をご記入ください。
※相手の住所は「〒0001-0001 A県A市A区A1-1-1」、相手の氏名は「山岡るり」としてください。

| 封筒の表 | 封筒の裏 |
|---|------|
| <div data-bbox="1010 680 1086 1120"><input type="text"/><input type="text"/><input type="text"/>-<input type="text"/><input type="text"/><input type="text"/><input type="text"/><input type="text"/><input type="text"/></div> | |